

令和7年1月13日

公益社団法人 日本技術士会 会員各位

〒812-0012

福岡市博多区博多駅前3丁目19-5

博多石川ビル6階

公益社団法人日本技術士会九州本部

ものづくり部会部会長 西尾行生

日本技術士会九州本部ものづくり部会 CPD 開催のご案内

この度、日本技術士会九州本部ものづくり部会では、技術士の研鑽（CPD）の一環として、下記の九州本部ものづくり部会 2024 年度第 3 回 CPD を下記により開催します。

今回の CPD は、エンジニアリングデザイン教育、多くの産業分野で扱われている粉体の流動安定性評価、地域住民と技術者を連携させるシチズンサイエンスのご講演を各分野の専門の先生方に実施して頂き、ものづくりに携わる技術士との討議をする非常に有意義で、ものづくり部会特有の内容となっております。是非多数のご参加をお待ちしております。

記

1. **講習会名** 九州本部ものづくり部会 2024 年度第 3 回 CPD
2. **開催日時** 2025 年 2 月 15 日（土） 10：30～16：35
3. **開催形式** オンライン（Zoom 使用）方式のみ
4. **開催場所** ○配信場所：西尾自宅
○オンライン参加：各自の中継場所
5. **講演次第**

(1) **挨拶・進行説明** (10:30～10:35)

(2) **ご講演内容**

講演 1 「工学部におけるデザイン教育の展開」

(10:35～12:05 質疑応答、討議含む)

講師 大淵 慶史 先生／熊本大学 大学院 先端科学研究部

グローバルものづくり教育センター長

（ご講演の趣旨）日本技術者教育認定機構：JABEE によって「エンジニアリングデザイン」教育の推進が提唱されて以降、工学系の大学・高専ではこれに対応する科目が設けられてきた。

しかし工学以外の領域の要素を考慮して連携し様々な観点から問題点を認識する能力、様々な制約条件下で解を見いだせる能力などの育成については、具体的な手法が確立されていないのが現状である。設計者を問題解決と提案の専門家と捉え、広い領域に亘る知識を持ち、それらを俯瞰・統合し人々のニーズを把握して最も有効な解（提案・解決案）を導出できる職能と考え、社会を変革する人材を育成することが求められる。これらの要求に応える為に先生が取り組まれてこられた事例をご紹介頂き、その効果を討議する場にしたい。講演では技術士に対し、こういった教育が、産業界にどのような貢献をするのかを述べたい。

講演2「粉体流動の安定性の評価に対する粉体特性値の重要性と課題」(産業応用)

(13:00～14:30 質疑応答、討議含む)

講師 尾形 公一郎 先生／大分工業高等専門学校 機械工学科 教授

(ご講演の趣旨) 粉粒体は食料品、医薬品、電気・電子部品、印刷、触媒、電池、エネルギーなどの多くの産業分野で、原料や中間製品、最終製品として取り扱われており、製造業では扱うノウハウがものづくりの基盤技術である。これらの製品製造プロセスでは、貯蔵、供給、輸送、充填、包装や計量、検査などの粉粒体をハンドリングする操作が行われている。特に、近年、粉粒体の粒子径や形状などの粒子特性及び粉体の流動性や付着性などの粉体特性を正確に評価した上で、粉粒体を安定的にハンドリングする学術的かつ技術的な知見が求められている。

本講演では、これら粉粒体を取り扱うプロセスの中で、粉体の供給・輸送技術に着目する。これは、粉体化した材料を供給・輸送する技術は製品製造プロセスの安定化を図るために重要なコア技術であるためである。具体的には、先生が長年研究に取り組んでこられた粉体の流動化供給・輸送技術を対象として、その操作に及ぼす粒子特性や粉体特性の影響についての研究成果と産学連携の事例及び課題を紹介して頂く。

講演3「シチズンサイエンスが地域にもたらす多様な効果と技術士との連携」

(15:00～16:30 質疑応答、議論含む)

講師 森田 泰暢 先生／福岡大学 商学部経営学科 教授、
商学部シチズンサイエンス研究センター長

(ご講演の主旨) シチズンサイエンスは、市民の参加により新たな知を創出する科学的活動として、近年注目を集めている。しかし日本では、プロジェクトの広報、資金調達、専門家と市民の接続、倫理面の担保など、具体的な運営課題に直面している。一方で、地域での実践を通じて、参加者間の新たなつながりが生まれるなど、コミュニティの活性化にも貢献することが明らかになっている。本講演では高度な専門性と社会的信頼を持つ技術士との連携がもたらす可能性を探る。技術士の知見や経験を活かすことで、専門知と市民知を効果的に結びつけ、より持続可能なシチズンサイエンスの実現を目指す。また、この連携を通じて、地域に根ざした新しい科学的活動のモデルを構築する可能性についても検討する。

(4) 閉会挨拶 (16:30～16:35)

当会のCPDは、参加した技術士が、講演者と討議する機会をできるだけ設け、深い理解と満足感が得られることを目指します。できれば事前に分野の状況を調べて参加いただくようお願い致します。

6. 参加者数 オンライン300名で締切

7. 参加申込及び参加費

○ 申込みにあたっては、下記誓約書に同意の上申込みを願います。

【誓約書】私は、公益社団法人日本技術士会九州本部が主催する「オンライン講演」を視聴するに当たり、以下の禁止事項を遵守することを誓約いたします。

(禁止事項)

1. ウェブ配信された講演等の視聴は、申込者本人限りでなければならない。
2. ウェブ配信のための招待メールは、他者に転送等を行ってはならない。
3. ウェブ配信された講演内容について、講演者の許可なく録画、録音、写真撮影、インターネットへの公開、及び他者への配布を行ってはならない。

○ 参加申込方法その他

- ・ 技術士会会員・準会員のみとなっています。
「技術士CPD行事申込一覧（会員）」からお願いします。
[技術士CPD行事申込一覧（会員）](#)
行事申込期限 2月14日（金）15時までにお問い合わせ。

○ 参加費

- ・ 技術士会会員・準会員は1人1,000円
- ・ 参加費支払方法
参加費は来年度の年会費と合わせて請求されます。領収証は発行できません。

○ 講習会資料の配布、招待案内URLのご連絡

参加申込者へは、行事申込確認後にメールで案内します。

8. Z o o m運用上のトラブル，その他のお問合せ

以下までお願いします

ものづくり部会 西尾行生 e-mail : nishio_yukio_pe@ab.auone-net.jp

携帯：080-3186-0666

9. CPD参加票の発行及び参加取消の手続き

- ・ CPD参加票は当該CPD実施後、参加取消期間（1週間）を経過して下記手順で発行が可能です。
…統括本部ホームページ→会員専用マイページ→参加のCPD行事の一覧→全ての参加申込一覧→申込をしたCPD行事の確認→参加票ダウンロード
（注）《新「CPD行事申込（会員）」ページの利用方法について》
…技術士CPD行事申込一覧に掲載
- ・ ご都合により参加ができなかった場合は、「CPD参加申込の取消」手続きをご案内致します。下記に手続きを記載したファイルを提示します。
[新「CPD行事申込（会員）」ページの利用方法について](#)
本ファイルのP10に記載してあります。

以上